

2022年度 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画
(美容科)

2年次)

- ・ 日本文化
- ・ サロンワーク

1年次)

- ・ 日本文化
- ・ サロンワーク

2022年度 埼玉県理容美容専門学校 授業計画

記 号	B2022NB69
課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	日本文化
担 当 者	一般社団法人 埼玉県美容技術協会 (細尾佳子、神津悦子、太田登美江、長島光世、岡本つね子、 間山弘子、浜野洋子、山田美智子)
区 分	選択
授 業 形 式	講義・演習
開 講 年 次	2年次(前・後期)
授業時間(単位)	60時間(2単位)

資料書(発行所)	日本文化②(一般社団法人 埼玉県美容技術協会テキスト)
----------	-----------------------------

授業の概要	和装着付け技術など日本独自の美容の文化を学び、日本人ならではの「おもてなし」の心を養う/営業に役立つアップスタイル	
期末考査	習熟状況審査のため、期末考査試験を実施するものとする。	
	時間	60分/100分
	内容	指定課題 アップスタイルの実技、着付け実習の成果を評価する。
	合否	100点満点中60点をもって合格とする。
評価方法	試験成績、平常の成績、感想文の提出、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判定する。	
評価基準	評価基準は、下記の通りとする。 A:90~100点 B:80~89点 C:70~79点 D:60~69点 E:追・再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点	

実務経験のある教員による授業	岡本 つね子	○	間山 弘子	○	浜野 洋子	○
	山田 美智子	○	太田 登美江	○	長島 光世	○
	細尾 佳子	○	神津 悦子	○		
実 務 経 験	美容所における美容師経験					
実 務 経 験 の 活 か し 方	上記経験をもとに日本の美容技術の伝承やおもてなしの心構えを指導					

2022年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	日本文化	担 当	岡本 つね子、間山 弘子、浜野 洋子、山田 美智子、 太田 登美江、長島 光世、細尾 佳子、神津 悦子
-----	------	-----	--

(2年次・前期)

回	講 義 内 容	備 考
1	【留袖】：ミセス礼装、日本文化留袖着付け手順使用 展示、ボディ1体、年代別着付け①30代	留袖16セット ボディ16体、タオル5枚
2	【留袖】：タオル補整、長襦袢、着物、 帯（袋帯）二重太鼓 小物類のおさめ方、衣紋の抜き方	2人1組ボディ1体使用
3	【留袖】：反復練習、全体のバランス	
4	【留袖】：年代別着付け②50代 衣紋、帯山の位置、高さ、帯幅	
5	【留袖】：反復練習、帯締め、帯揚げ、バランス、家紋	
6	【留袖】：技術テスト	40分テスト 2人1組交替ボディ使用
7	【留袖】：学科テスト40分、年代別着付け③70代後半 留袖帯、代わり結び	家紋作成テスト
8	【留袖】：帯枕選び方 展示 紋付き羽織袴	紋付き羽織袴（協会袴使用） ボディ1体
9	【留袖】：反復練習、全体のバランス	ボディ
10	【振袖】：ふくら雀 展示、小物類のおさめ方	
11	【振袖】：ふくら雀 手先、垂先のたたみ方	ボディ
12	【振袖】：ふくら雀 三重ゴム紐の使い方	ボディ
13	【振袖】：ふくら雀 全体のバランス	ボディ
14	【振袖】：ふくら雀 反復練習	ボディ
15	【特別授業】：美容技術デモンストレーション	

B2022NB69

2022年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	日本文化	担 当	岡本 つね子、間山 弘子、浜野 洋子、山田 美智子、 太田 登美江、長島 光世、細尾 佳子、神津 悦子
-----	------	-----	--

(2年次・後期)

回	講 義 内 容	備 考
16	【振袖】：ふくら雀 反復練習	学科テスト用意
17	【振袖】：ふくら雀 学科テスト 変わり結び①	学科テスト、展示 ボディ 1 体
18	【振袖】：ふくら雀 実技テスト①	実技テスト ボディ 16 体
19	【アップスタイル】：面だけで作るアップスタイル、逆毛 バランスの取り方、すき毛、すき毛の使い方、ピンのとめ方	
20	【振袖】：ふくら雀 実技テスト②	学生交替、実技テスト ボディ 16 体
21	【特別授業】：美容技術デモンストレーション	
22	【振袖】：変わり結び① 手先ひだ折り方	ボディ
23	【アップスタイル】：面と動き（カール）を活かしたアップ 2 作品 ①逆毛を立てること②すき毛を使うこと	アイロン使用
24	【振袖】：変わり結び① 反復練習	ボディ
25	【振袖】：変わり結び①②結び展示	帯ひだ折り方 ボディ
26	【振袖】：変わり結び② 小物の使い方	ボディ
27	【振袖】：変わり結び② 反復練習	ボディ
28	【アップスタイル】：実技試験（2 作品） ① 面だけで作るスタイル②動きのある創作スタイル	アイロン使用
29	【振袖】 総仕上げ 帯結び①か②いずれかにて	就職先に向けてアピール 写真 撮影許可 片付け、着物 ボディ
30	【特別授業】：美容技術デモンストレーション	

B2022NB69

2022年度 埼玉県理容美容専門学校 シラバス

記 号	B2022SW69
課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	サロンワーク
担 当 者	原田 怜、山田 太子、佐々木 祐輔
区 分	選択
授 業 形 式	実験・実習・実技
開 講 年 次	2年次（前期）
授業時間(単位)	30 時間 (1 単位)

教科書（発行所）	ビジネスマナー（公益社団法人日本理容美容教育センター） 美容実習（公益社団法人日本理容美容教育センター）
----------	---

授業の概要	美容実習等で学んだ技能を活かし、ロールプレイング等を交えより実践的な技能修得を目指す。技術ばかりでなく、技術と接客を並行に行えるように職業実践的な授業を反復トレーニングする。	
期末考査	習熟状況審査のため、期末考査試験を実施するものとする。	
	時間	50 分間
	内容	教科書の内容を中心に、教材プリントなどより出題する。
	合否	100 点満点中 60 点をもって合格とする。
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判定する。	
評価基準	評価基準は、下記の通りとする。 A:90~100点 B:80~89点 C:70~79点 D:60~69点 E:追・再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点	

実務経験のある教員による授業	原田 怜	○	山田 太子	○	佐々木 祐輔	○
実 務 経 験	美容所における美容師経験					
実 務 経 験 の 活 か し 方	上記経験をもとに美容技術の実践に伴った美容技術の指導を行う					

2022年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	サロンワーク	担 当	原田 怜、山田 太子、佐々木 祐輔
-----	--------	-----	-------------------

(2年次・前期)

回	講 義 内 容	備 考
1	【新社会人になるにあたって】心構え、学ぶ姿勢	
2	【新社会人になるにあたって】得する人、損する人の違い	
3	【カウンセリング】接客心理、カウンセリングテクニック	
4	【接客】挨拶、お客様対応、名刺の交換、マナー、一般常識	
5	【接客】サロンワークの受付、ご案内、会話、お見送り	
6	【シャンプー、スタイリング実習】 バックシャンプー、ブローの説明と展示	
7	【シャンプー、スタイリング実習】 バックシャンプーのすすぎ、内巻きブロー、スタイリング練習	
8	【シャンプー、スタイリング実習】 バックシャンプーのすすぎ、内巻きブロー、スタイリング練習	
9	【シャンプー、スタイリング実習】 バックシャンプー練習、レイヤーブロー、ヘアアレンジ	
10	【シャンプー、スタイリング実習】 バックシャンプー練習、レイヤーブロー、メンズスタイリング	
11	【パーマ実習】パーマ液、毛髪知識、ワインディング	
12	【パーマ実習】パーマ掛け、スタイリング	
13	【カラーリング実習】ケミカル知識、毛髪診断、色彩知識	
14	【カラーリング実習】毛束を使ってカラーリング実習	
15	【サロンワークまとめ】接客、技術の復習	

B2022SW69

2022年度 埼玉県理容美容専門学校 授業計画

記 号	B2022NB70
課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	日本文化
担 当 者	一般社団法人 埼玉県美容技術協会 (細尾佳子、神津悦子、太田登美江、長島光世、岡本つね子、 間山弘子、浜野洋子、山田美智子)
区 分	選択
授 業 形 式	講義・演習・実習
開 講 年 次	1年次(前・後期)
授業時間(単位)	60時間(2単位)
教科書(発行所)	日本文化②(一般社団法人 埼玉県美容技術協会テキスト)

授業の概要	和装着付け技術など日本独自の文化を学び、日本人ならではの「おもてなし」の心を養う。内面と外面から感じる人間性を身に付ける。	
期末考査	習熟状況審査のため、期末考査試験を実施するものとする。	
	時間	50分/60分
	内容	指定課題の提出及び、日本髪の実技、着付け実習の成果を評価する。
	合否	100点満点中60点をもって合格とする。
評価方法	試験成績、平常の成績、感想文の提出、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判定する。	
評価基準	評価基準は、下記の通りとする。 A:90~100点 B:80~89点 C:70~79点 D:60~69点 E:追・再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点	

実務経験のある教員による授業	岡本 つね子	○	間山 弘子	○	浜野 洋子	○
	山田 美智子	○	太田 登美江	○	長島 光世	○
	細尾 佳子	○	神津 悦子	○		
実 務 経 験	美容所における美容師経験					
実 務 経 験 の 活 か し 方	上記経験をもとに日本の美容技術の伝承やおもてなしの心構えを指導					

2022年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	日本文化	担 当	岡本つね子、間山弘子、浜野洋子、山田美智子、 太田登美江、長島光世、細尾佳子、神津悦子
-----	------	-----	--

(1年次・前期)

回	講 義 内 容	備 考
1	【日本髪】：日本髪の歴史・古代から明治まで 新日本髪（桃割れ）デモンストレーション	桃割れ
2	【教 養】：内面の美しさとは、外面の美しさとは （人間性や身だしなみについて）	日本文化テキスト
3	【日本髪】：ブロッキング各部名称・ゴム結び・ピニング	髷
4	【日本髪】：髷から鬢まで	ボリューム、毛流れ
5	【日本髪】：髷、鬢、前髪、髻	全体のメリハリ、シルエット
6	【日本髪】：桃割れ仕上げ、他、飾りの付け方	中間デモンストレーション
7	【日本髪】：総仕上げ	
8	【日本髪】：総仕上げ	
9	【日本髪】：ペーパーテスト	プリント、テスト
10	【日本髪】：新日本髪 総仕上げ 60分	良い作品を各クラス 2点選出
11	【着付け】：着付け総論（講義）	目的、歴史、教材配布 着物と帯の名称と種類 等
12	【浴衣】：展示、実技、補整、たたみ方、下着付け方	
13	【浴衣】：浴衣自装（文庫）	
14	【浴衣】：浴衣自装（貝の口）	
15	【浴衣】 浴衣 確認テスト	

B2022NB70

2022年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	日本文化	担 当	岡本つね子、間山弘子、浜野洋子、山田美智子、 太田登美江、長島光世、細尾佳子、神津悦子
-----	------	-----	--

(1年次・後期)

回	講 義 内 容	備 考
16	【着付け】：和装とお参り（講義）	
17	【着付け】：七五三展示	デモンストレーション
18	【着付け】：街着・袴展示	デモンストレーション
19	【着付け】：街着準備（講義）	長襦袢と着物たたみ方 襟付け、補整
20	【街着】：ボディ補整、長襦袢着装	実技
21	【街着】：着物着装	実技
22	【街着】：帯結び（一重太鼓）	実技
23	【街着】：復習（ボディ補整から帯結びまで）	実技
24	【街着】：街着発表	期末考査
25	【袴】袴①	実技
26	【特別授業】：美容技術デモンストレーション	
27	【袴】：袴②	実技
28	【袴】：袴③	実技
29	【特別授業】：美容技術デモンストレーション	
30	【特別授業】：美容技術デモンストレーション	

2022年度 埼玉県理容美容専門学校 シラバス

記 号	B2022SW70
課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	サロンワーク
担 当 者	橋本 有美、吉野 貴子、野村 彩佳
区 分	選択
授 業 形 式	実験・実習・実技
開 講 年 次	1年次 後期
授業時間(単位)	30 時間 (1 単位)

教科書 (発行所)	ビジネスマナー (公益社団法人日本理容美容教育センター) 美容実習 (公益社団法人日本理容美容教育センター)
-----------	---

授業の概要	ロールプレイング等を交えより実践的な技能修得を目指す。技術ばかりでなく、技術と接客を並行に行えるように職業実践的な授業を反復トレーニングする。	
期末考査	習熟状況審査のため、期末考査試験を実施するものとする。	
	時間	50 分間
	内容	教科書の内容を中心に、教材プリントなどより出題する
	合否	100 点満点中 60 点をもって合格とする。
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判定する。	
評価基準	評価基準は、下記の通りとする。 A:90~100点 B:80~89点 C:70~79点 D:60~69点 E:追・再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点	

実務経験のある教員による授業	橋本 有美	<input type="radio"/>	吉野 貴子	<input type="radio"/>	野村 彩佳	<input type="radio"/>
実 務 経 験	美容所における美容師経験					
実 務 経 験 の 活 か し 方	上記経験をもとにサロン現場における接客指導を行う					

2022年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	サロンワーク	担 当	橋本 有美、吉野 貴子、野村 彩佳
-----	--------	-----	-------------------

(1年次・後期)

回	講 義 内 容	備 考
1	サロンワークについてディスカッション①	グループワーク
2	サロンワークについてディスカッション②	グループワーク
3	サロンワークについてディスカッション③	グループまとめ
4	接遇、挨拶、基本マナーについて学ぶ	
5	サロンワーク（受付～施術～お見送りまで）の ロールプレイング①	
6	サロンワーク（受付～施術～お見送りまで）の ロールプレイング②	
7	バックシャンプー技術の練習と習得、ブロー修練①	
8	バックシャンプー技術の練習と習得 ブロー修練②	
9	バックシャンプー技術の練習と習得 ブロー修練③	
10	バックシャンプー技術の練習と習得 ブロー修練④	
11	バックシャンプー技術の練習と習得 ブロー修練⑤	
12	バックシャンプー技術の練習と習得 ブロー修練⑥	
13	人頭ワインディング	
14	メンズスタイルの習得と修練	
15	メンズスタイルの習得と修練	

B2022SW70